

子育て支援情報 ファミリー・サポート・センター

同センターでは、今月末(3月31日利用分)まで、初回利用料を助成していますので、ぜひご利用ください。

対象者 開成町に在住し、住民登録があり、町ファミリー・サポート・センター事務局に会員(おねがい会員)登録をされている方

助成内容 3月31日(火)までの期間に、まかせて会員に支払った初回の利用料金(ただし子ども1人につき平日基本料金2時間分が上限)を助成します。ただし、交通費、食費などの実費及びキャンセル料は助成の対象外です。

● ● 開成町ファミリー・サポート・センター
(延沢854番地プラザ開成2階、町役場向かい)

☎0465-20-9699

平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く)

※車でお越しになる方は、町役場駐車場をご利用ください。



この建物の2階です

図書室だより<3月>

町民センター3階

※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

ドファアラ門

山下 洋輔 著

著者は世界各国で活躍しているジャズピアニストであり、エッセイストとしての文才も知られている。

本書は自伝でもあるが、母「菊代」とその一族のユニークな系譜をたどりながら、著者の音楽的才能のルーツをさぐっていく。

その才能を開花させた環境のひとつであり、著者が生まれた時から触れていたという母のピアノ「ホルーゲル」の謎解きも最後に明かされる。



みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内 容 「ばかばかおうま」をつくります

日 時 3月14日(土) 10:00～

持ち物 はさみ

対 象 5歳～(未就学児は保護者同伴)

場 所 町民センター2階 小会議室 A

申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

生き生きレポート

問 開成小学校 ☎83-1616

心一つに“すてきさん、

2月4日(水)の5校時に「全校長縄集会」がありました。今年は、各クラス2チームずつに分かれ、その合計でクラスの目標に挑みました。その集会に向けて、朝の時間、中休み、昼休み、体育の時間などを使って全員が練習に励んでいました。各クラスが長縄跳びに向かって、心一つにしていた“すてきさん、でした。



全校長縄集会の様子

【開室時間】 火～金曜日 10:00～20:30

土・日曜日 10:00～17:00

【休 室 日】 毎週月曜日

新しく購入した図書(主なもの)

● 一 般 書 ●

- ・パノララ
- ・三成の不思議なる条々
- ・悲嘆の門
- ・我が心の底の光
- ・絶唱
- ・叛徒
- ・賢者の愛

柴崎友香
岩井三四二
宮部みゆき
貫井徳郎
湊かなえ
下村淳史
山田詠美

● 児 童 書 ●

- ・歌う樹の星
- ・虫愛ずる姫もどき
- ・シンドローム
- ・ぶんぶんおばけ
- ・おばあちゃんからライオンをかくすには

風野潮
おのりえん
佐藤哲也
なががわちひろ
ヘレン・ステイヴンズ

◇おはなし会(第2土曜日、第3水曜日)

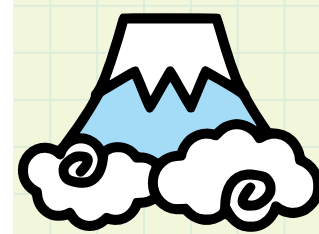
日 時 3月14日(土) 10:30～

3月18日(水) 15:00～

場 所 町民センター3階図書室

申し込みはいりません

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、
開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、
読書活動を推進します。



開成町と富士山

(その12)

富士山が世界文化遺産に登録されたことに合わせて、「開成町と富士山」シリーズを連載しています。おたのしみください。

問 教育総務課 ☎82-5221

右の写真は江戸時代に富士講を開いた長谷川角行の自筆の掛軸(元和五・一六一九年筆九六×三二cm)で、富士山はだれにでも平等に光を照らす、と独特の字で書かれています。

山梨県富士吉田市の史料によると「明治二十年 高祖角行御眞筆壱幅」が金井島村の加藤平左衛門に、当時のお金で二十四円で売られていました。その後、金井島や延沢に角行の偈(弟子であることの証明)として引き継がれ、現在は一族が長く富士山ガイドをつとめた上延沢の武藤泰男さんが、大切に保管しておられます。

金井島や延沢の人たちはこの掛軸を、富士登山の時には「お身抜き」といって必ず持参しました。そのため、専用の金らん布張りの竹筒(写真左 直径九×四十cm)に入っ

「なんでも鑑定団」
富士講の掛軸と竹筒



竹 筒

掛 軸

上延沢 武藤泰男さん所有

ていて保存状態もよく、とても四百年前のものとは思えないいい仕事のものです。

さて、掛軸と竹筒を合わせた鑑定額は？ 金井島に売られた明治二十年の二十四円が、当時の米価を目安にいまならいくら、がまず出発点になります。ですが、実物を見ると金額の話にするのは失礼でダメです。ここはお金には代えられない「町のお宝」であることをもって鑑定結果といたします。

掛軸さんや竹筒さん、それに持ち主の武藤さんも、お金の話とはともかく、広く町民のみなさんに見てもらえる日を待っておられることでしょう。

(文化財保護委員会 井上東亜)

*文 芸

開成俳句会 俳 句

歌かるた教へし子等に教へらる
芳香の窓辺のあたり風信子
成人の日朝のメールの頼もしき
七草に望みを少し炊きにけり
真顔なる母在す日の歌留多かな
夕まぐれ賀状一枚待ちにけり
あかあかとあたりを染めし初日の出
新しき橋より拝す初日かな

【人位】

作柄を占ってみる小豆粥

新春最大の一喜一憂のドラマを鑑賞した。

新井たか志 選評

【地位】

一憂の箱根駅伝ドラマなり

遠藤美津子

【天位】

光芒の巖かなりし冬の海

日本海の冬海は荒涼としているが、相模湾などは風いで陽光はむしろ眩しいのである。さらさら光る波頭の景を作者は(巖か)と感じた。景色の充分伝わる秀句です。

奥津ちわき

ともしび短歌会 短 歌

北風に散り敷く木の葉の吹きだまり

霜踏む今朝の通院つらし

杉本シズ子

「吹きだまり」の様を、「上の句」の描写で上手に表現している。そのような場所を横目に、霜を踏みつつ病院に向かう今朝は、とてもつらいと詠じた。寒さと向き合う率直な心情が吐露されている。

近藤 正臣 選

「ただいま」とふと声に出して言ってみる

夫亡きあとの一人居の玄閑

辻岡 洋子

「主人がご健在の頃は、作者が玄閑戸を開けると応答があった。それを思い出して「ただいま」と言ってみた。ご主人の面影を偲びながら、今の現状を深く認識しようとする作者の姿がそこにある。

葉包の中に開ける寒牡丹に

弱き陽射して登しづかなり

吉田 志麻

牡丹を葉包に包み、寒さを防ぎ観賞する栽培法は、江戸時代からある。それに精通している人の庭での静かな昼中の景を捉えた。視線を一点に集中させつつ鋭い感覚で、状況を適切に描写している。